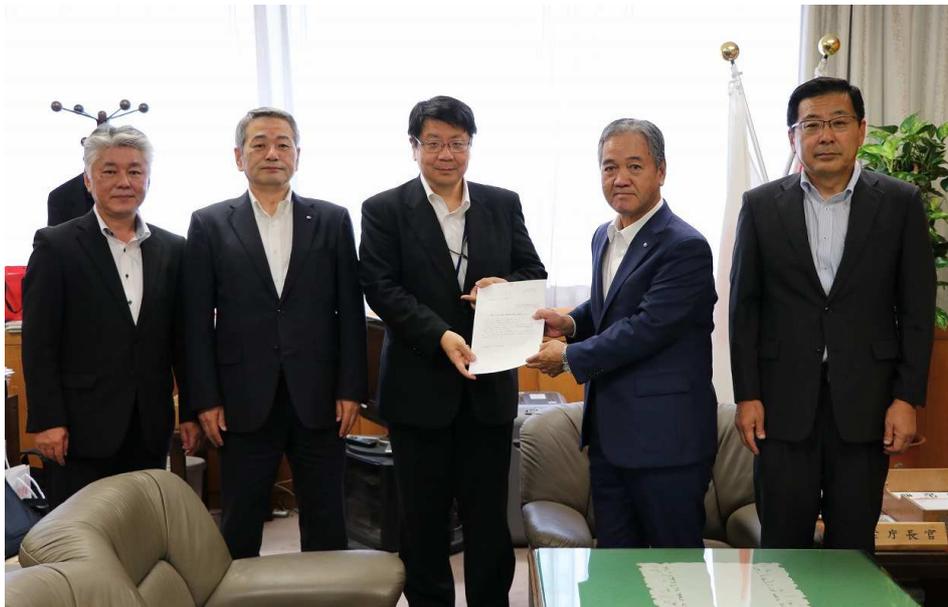


# JF大分 水産おおいた

発行元 大分県漁協

## 水産庁長官へ 施策要望

九州・山口地区漁協三連会長会は、8月21日（水）に山口英彰水産庁



山口水産庁長官へ要望提出

長官に対して令和2年度政府水産施策要望を行った。この水産庁長官への要望は初めての取組である。出席者は山本勇会長（大分県漁協）、久保田

正副会長（長崎信漁連）、事務局（白隈、新川）、同席者は全漁連の岸宏全会長、中平和典専務、三浦秀樹常務、田中要範部長他。

正式な要望事項は25項目あるが、時間の制約で、水産施策と水産予算に分け、重点項目のみを口頭で要望した。水産施策に関しては、1「水産政策の改革」への的確な対応、2資源管理体制の整備、3養殖業の振興、4有明海再生、5WCPFC及びクログマグロ規制対策、6漁業共済制度の見直し、7漁業近代化資金通法施行令の見直し、8水産業成長産業化沿岸地域創出事業に対する漁業近代化資金基準金の適用についてを要望した。また、水産予算に関しては、1栽培漁業等の推進、2養殖業の振興、3漁業就業者対策、4漁場環境の復旧と保全対策、5有明海再生、6かつお・まぐろ漁業対策、7漁業無線局・漁業用無線機等に対する支援、8我が国の漁業存続を図る



令和元年度海上保安協力員連絡会議

対策、9漁業経営安定対策と漁業構造改革の推進のための各種補助事業の継続、10認定漁業者等担い手に対する支援措置に関する予算の維持及び確保を要望した。

**海上保安協力員 連絡会議**

令和元年度海上保安協力員連絡会議が8月9日（金）に水産会館で開催された。

海上保安部の活動報告の後に、協力員の活動報告が行われた。保安部から今話題のマイクログラスティック等の「近年の海ごみ問題」について話



題提供があった。

**漁業調査船 豊洋竣工!**

大分県漁業調査船「豊洋」の竣工式が8月30日（金）に大分市生石の「トップスピッツホール」で開催された。県知事をはじめ県、県議会、国立研究開発法人水産研究・教育機構、海上保安部、県漁協等の関係者約100名が出席し、盛大に執り行われた。

新豊洋の主な仕様は、56トン（FRP）、全長24.2m×幅5.6m×深2.3m 巡航速度13ノット、乗船定員



マルチコプター（ドローン）



新「豊洋」

12名で、搭載機器は計量魚探、全周型スキヤンニングソナー、マルチコプター、超音波多層式流向流速計、高速DOセンサー搭載CTDなどの最新機器を導入している。造船所は山口県下関市の（株）ニシエフである。